

## 2011北海道地区合宿レポート

ここ最近北海道地区では、毎年新得町にて合宿が行われています。

今年は大人と子供、合わせて62名が参加をしました。

北海道地区には佐々木嗣治、田中俊輔と言った北斗旗や世界選手権等でもトップの選手を複数人輩出しており、日常では雲の上の存在である塾長や北斗旗の選手が、一般部や少年部にお手本を示し、その存在を身近に感じる事が出来るのも合宿の良い点ではないでしょうか。

日頃は稽古時間単体での顔合わせは有っても、本当にお互いを理解する所までは、なかなか難しいと思いますが、寝食を共にする事でお互いの武道観を真剣に話しをしてみたり、たあいもない下らない話に共感したり笑ったり出来る経験は、一般、BC、女子、少年部、全てに共通する事だと思います。



真剣な面持ちで、技の解説をする塾長。



北斗旗トップ選手との基本稽古

今回の合宿最終日には審査会も行われ、佐々木嗣治、田中俊輔らの昇段審査も行われました、間近で見る北斗旗トップ選手の連続組み手に、合宿の参加者全員に大変良い刺激となったと思います。



塾長の話に集中して耳を傾ける参加者一同。

私自身としましては、2013年の世界大会に向けて、皆と共に意識を高めて行くと言う部分と、その意義にスポットあてながらの参加としました。

少年部からの参加は30名(北海道地区参加規定、小学4年生緑帯以上、5年生以上色帯)。来る2013年の第四回世界大会とジュニア世界大会への意識は高く、日頃から「日本の為に俺達がやらなくて誰がやる」位の意識を持って稽古に取り組む事を常に念頭としています。

2013年まで後2年と短い期間ですが、取り組み方次第ではまだ2年もあります。



稽古終了後の大変重要な会議？



合宿参加者による記念撮影、皆さんお疲れ様でした。

各個人には目的があり、それが健康であったり試合に出場する事であったりと人それぞれですが、異なる地域に住んでいても、皆で共有する大きな目標やその意義は必要だと思います。

同じ意思を持って稽古に励み、それを年に一度再認識する上でも合宿は有意義だと感じました。

また来年の合宿で皆さんにお会い出来るのを楽しみにしています。押忍

文：帯広支部支部長 飛永耕治  
写真提供：北海道本部 濱上文暁